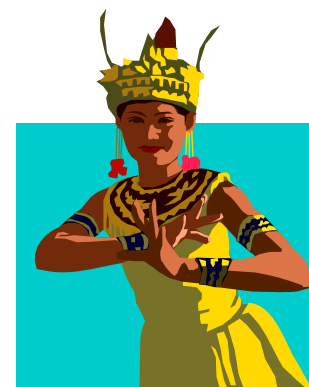
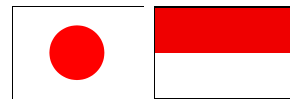


# 海外進出の是非を判断するための指針





# 自己紹介

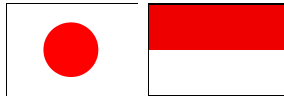


- 1975/4～1998/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援部門配属
- 1998/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/8～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立  
インドネシア語翻訳・通訳  
静岡大学客員教授、専修大学客員講師  
独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー  
一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー  
一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師  
一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事  
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも48年になりました



# セミナー要旨

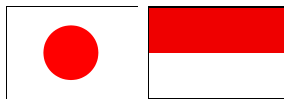


- 日本の中小企業が、インドネシアに限らず海外進出を判断する際に、何を基準として、どのような情報に頼れば良いのか、途方に暮れている経営者が多いのではないかと思います。
- 悩んで迷った挙句に、最も安全な選択肢として、海外進出を諦めると言う場合もあるでしょう。
- 確かに未来のことは誰にも分かりませんので、絶対に正しいという判断を下すのはほぼ不可能です。
- しかし、過去50年近くにおよび、主にインドネシアへの企業進出に関わって来た経験から、誤った判断を下すことを出来るだけ少なくするための確認項目を取り上げ、100点満点方式で評価する方法を解説します。

[海外進出評価リスト.xlsx](#)



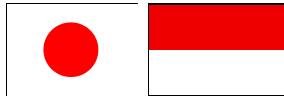
# 目次



- I. なぜ海外進出するのか？
- II. なぜその国を選ぶのか？
- III. 本社に資源と力はあるのか？
- IV. 困った時に誰が助けてくれるのか？
- V. 最悪の事態は想定しているのか？
- VI. 総合評価による最終判断



# 1. なぜ海外進出するのか？

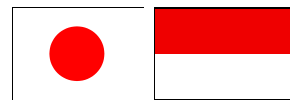


採点基準 十分満たしている/該当しない:2点 半分程度満たしている:1点 満たしていない:0点

No.	確認項目	評価点	得点
1	手付かずの市場(Blue Ocean)がある	2	
2	先行者利益(Pioneer Profit)が期待出来る	2	
3	本社への利益配当支払が期待出来る。	2	
4	本社への技術援助料支払が期待出来る。	2	
5	輸出資材からの売上利益が期待出来る。	2	
6	日本への安価な資材や部材の供給が期待出来る。	2	
7	近隣諸国への再輸出が有利になる。	2	
8	日本国内では難しい技能伝承が期待出来る。	2	
9	経営能力と国際感覚を持つ人材を育てられる。	2	
10	現地国の発展に寄与出来る。	2	
小計		20	



## 2. なぜその国を選ぶのか？

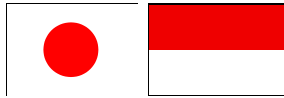


採点基準 十分満たしている/該当しない:2点 半分程度満たしている:1点 満たしていない:0点

No.	確認項目	評価点	得点
1	政治および社会が安定しており安心して訪問や生活ができる。	2	
2	人権が守られており安心して訪問や生活ができる。	2	
3	治安が良く安心して訪問や生活ができる。	2	
4	自然災害による生命の危険に晒されることがない。	2	
5	生活環境が整備されており衣食住に不便を来さない。	2	
6	医療環境が整備されており安心して訪問や生活ができる。	2	
7	法律が明瞭であり朝令暮改による混乱がない。	2	
8	労働組合は過激ではなく話し合いによる問題解決ができる。	2	
9	経済成長を維持する力がある。	2	
10	親日国である。	2	
小計		20	



### 3. 本社に資源と力はあるのか？

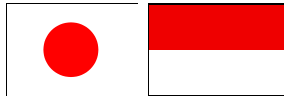


採点基準 十分満たしている/該当しない:2点 半分程度満たしている:1点 満たしていない:0点

No.	確認項目	評価点	得点
1	海外事業を担当出来る人材が居る。	2	
2	海外法人に出向出来る人材が居る。	2	
3	社長は海外事業展開に十分対応出来る余力がある。	2	
4	海外法人設立のための資金を調達出来る。	2	
5	海外事業展開のための費用を拠出出来る。	2	
6	緊急時に日本から親子ローンで資金を送金出来る。	2	
7	輸出資材の代金決済を長期サイトで設定する資金余裕がある。	2	
8	技術移転するための仕事の可視化と標準化が出来ている。	2	
9	海外からの研修生・実習生を受け入れることが出来る。	2	
10	模造品や偽造品に対抗するための新商品開発が出来る。	2	
小計		20	



# 4. 困った時に誰が助けてくれるのか？



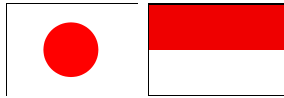
採点基準 十分満たしている/該当しない:2点 半分程度満たしている:1点 満たしていない:0点

No.	確認項目	評価点	得点
1	日本国内で取引のある企業の現地法人を頼れる。	2	
2	現地側合弁相手企業の能力が多岐にわたり頼りになる。	2	
3	JETRO, JICA, 大使館など日本の公的機関に頼れる。	2	
4	現地政府の関係機関からの支援が得られる。	2	
5	現地の法律事務所と契約している。	2	
6	現地の公認会計士事務所と契約している。	2	
7	現地の経営コンサルティング会社と契約している。	2	
8	現地の口座開設銀行に日本人が常駐しており頼りになる。	2	
9	現地の同業者組合に加盟しており頼りになる。	2	
10	日本国内の海外事業コンサルティング会社と契約している。	2	
<b>小計</b>		<b>20</b>	





# 5. 最悪の事態は想定しているのか？

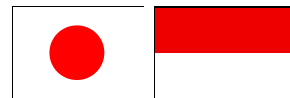


採点基準 十分満たしている/該当しない:2点 半分程度満たしている:1点 満たしていない:0点

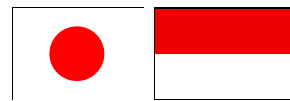
No.	確認項目	評価点	得点
1	合併会社の場合は出資比率が51%以上になる。	2	
2	投資金額の損失は本社の経営に影響しない。	2	
3	日本での銀行融資枠は投資金額以上保証されている。	2	
4	休業補償も含めた十分な補償額の損害保険に加入する。	2	
5	日本人の緊急搬送保険に加入する。	2	
6	非常事態に際して日本人を守れる現地人幹部が居る。	2	
7	商標は現地にて登録済である。	2	
8	定年退職金は積み立てる。	2	
9	労働組合や国税庁などとの訴訟問題対応マニュアルを用意する。	2	
10	会社清算の場合の手続きは把握している。	2	
<b>小計</b>		<b>20</b>	



# 6. 総合評価による最終判断



平均点		60点未満課題別改善対策例	
60点以上	進出しても大丈夫	なぜ海外進出するのか？	60点以上を得点出来る国を探し直す。
～59点 50点	平均点を60点に上げてから進出する	なぜその国を選ぶのか？	60点以上を得点出来る国を探し直す。
～49点 40点	進出計画を見直す	本社に資源と力はあるのか？	主に取引銀行と経営陣で解決策を検討する。
～39点 30点	進出は危険が多い	困った時に誰が助けられるのか？	進出国に詳しいコンサルティングに相談する。
30点未満	進出は諦める	最悪の事態は想定しているのか？	進出国に詳しいコンサルティングに相談する。



## インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト(Googleトップランキング)

<https://www.hmkt.jp/>

## インドネシア最新情報ブログ

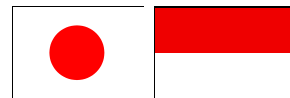
あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

<http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/>

## インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

<https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ>



ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です